

第32回 維持管理・環境管理専門委員会
第4回 H30年度イベント実行委員会
議 事 録

- 日時 : 平成30年9月4日 (火) 9:30～11:30
- 場所 : 上尾市文化センター 302集会室

●資料

- ・ 資料－1. 前回の議事録
- ・ 資料－2. H30年度イベントについて
- ・ 資料－3. H30年度の維持管理活動について
- ・ 資料－4. H30年度実施予定の工事について
- ・ 資料－5. マーケットリサーチについて
- ・ 参考資料－1. 「荒川太郎右衛門地区自然再生事業 自然再生全体構想」 新旧対照表 (案)
- ・ 参考資料－2. H30年度の維持管理活動・イベントスケジュール

【議事結果】

- ① 10月13日のイベントは、各委員のお知り合いで手伝っていただける方がいれば、事務局に連絡していただき、イベント当日の計画書に名前を追加する。
- ② 10月13日のイベントは、サイサン環境保全基金の代表理事が視察予定であり、開会式で挨拶していただく時間を設ける。
- ③ 10月13日のイベントでは、植生管理において「樹木人気投票」を実施する。昆虫観察における「ムシえもん認定印」は随時押印を行う。
- ④ マップ (案) については、各協議会委員の意見を集約する。各協議会委員の意見を踏まえたマップ (案) を、浅枝会長に最終確認いただき、デザインを確定する。
- ⑤ 9月5日の維持管理作業 (下池) は、予定通り実施する。
- ⑥ 中池の管理方針 (案) は概ね良い。今後、具体的な維持管理プログラムを検討し、各種団体・企業等に向けたプレゼン資料を作成していく必要がある。
- ⑦ 次回の自然再生協議会では、下池掘削工事の目標や計画、これまでの経緯、今後の方針を説明する。
- ⑧ 下池の掘削予定範囲における植物への配慮に関する方針は、原案通りとする。
- ⑨ 散策ルート (中池～下池の川島町道区間) については、現地条件が確認出来たため、マップや看板には暫定ルートを表示する。
- ⑩ 自然再生全体構想の新旧対照表 (案) について、意見がある場合は事務局に連絡する。

【主な議事内容】

●前回の議事録について

(質疑応答なし)

●H30年度イベントについて

- ・ イベント実行副委員長は、埼玉大学生に引き受けていただいた（川島イベント実行委員長から依頼）。
- ・ サイサン環境保全基金の助成金は、満額承認された。
- ・ 10月13日のイベントは、各委員のお知り合いで手伝っていただける方がいれば、事務局に連絡していただき、イベント当日の計画書に名前を追加する。
- ・ 10月13日のイベントは、サイサン環境保全基金の代表理事が、9時頃から1時間30分程度、イベントを視察する予定である。開会式では、代表理事に挨拶していただく時間を設ける。
- ・ 10月13日のイベントでは、植生管理において「樹木人気投票」を実施する。昆虫観察における「ムシえもん認定印」は随時押印を行う。
- ・ マップの作成については、協議会委員に以下の意見を反映したマップ（案）を送付し、内容の確認を依頼する。内容を確認する期間は10日間程度とし、意見があれば事務局に報告してもらおう。各協議会委員の意見を踏まえたマップ（案）を、浅枝会長に最終確認いただき、デザインを確定する。

なお、デザインや情報量のバランスの観点から、マップデザインに反映する意見は取舍選択する必要がある。

- キツネの写真が弱々しく見える。
- バッタがあったほうが良い。絶滅危惧種に限らずとも良いのでは。
- 目立つ種を掲載したほうが良い（ミゾコウジュは地味である）。写真の選択は事務局に一任する。
- マークだけでも良いので、看板の位置を表示しておく方が良いのではないか。
- 「堤防」と「横堤」があるとよい。
- 各池を分けている黄色の太い線は、横堤を利用して表示する。
- 上池、中池、下池の黒い文字が小さい。
- 上池の水面は、湿地の絵に変更する。
- 中池入り口のPマークは、スズメバチがいるので外す。
- 矢印の起点終点があいまいなので、どこからどこまでの距離なのかわからない。
- 本田エアポートの建物に名称を記したほうが良い。
- 神社の絵は、鳥居にしたほうが良い。
- 下池ハンノキ移植地は、掘削したことがわかるようにしたほうが良い。

●H30年度の維持管理活動について

- ・ 9月5日の維持管理作業（下池）は、予定通り実施する。
- ・ 中池の管理方針（案）は、概ね良い。
中池の管理方針（案）は、次回の自然再生協議会に提案する。
- ・ 中池の維持管理に関する課題や注意点として、以下の点が考えられる。
 - ▶ 誰がどのように、維持管理を実施するのか。
 - ▶ 移植用草本を増殖させる場所には、繁殖力が強いオギがあるため、この場所の管理も必要になる。
 - ▶ クズ、カナムグラの繁殖力は相当強いので、除草は毎年数回実施する必要がある。
 - ▶ 河畔林があった方が下草の繁茂は抑制されるので、河畔林を伐採しないようにする必要がある。
 - ▶ クズ、カナムグラ等の刈りとった草をどう処分するか。
- ・ 具体的な維持管理プログラムを検討し、各種団体・企業等に向けたプレゼン資料を作成していく必要がある。

●H30年度実施予定の工事について

- ・ 次回の自然再生協議会では、下池掘削工事の目標や計画、これまでの経緯、今後の方針を説明する。
- ・ 下池の掘削予定範囲における植物への配慮に関する方針は、原案通りとする。
なお、工事後の周辺環境が変化すると、移植後の植物に影響を与える可能性があるため、事後のモニタリングを実施する。
- ・ 資料中の図は、掘削済み箇所・掘削予定箇所を、これまでの協議結果を踏まえて修正する。
- ・ H30年度工事は、前回の自然再生協議会で承認をいただいているため、工期内で工事が完了するよう施工を行う。
- ・ 散策ルート（中池～下池の川島町道区間）については、現地条件が確認出来たため、マップや看板には暫定ルートを表示する。

●マーケットリサーチについて

- ・ エコプロ2018で使用する名刺の印刷のため、初参加となる委員、名刺が不足する委員を後日確認する。

●その他

- ・ 宮川委員は、今年度から協議会委員として参加いただいているが、まだ、専門委員会には所属していない。宮川委員の意向確認を行ったうえで、次回の維持管理・環境管理専門委員会から参加していただく。
- ・ 自然再生全体構想の新旧対照表（案）について、意見がある場合は事務局に連絡すること。

以上